

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-86445

(P2004-86445A)

(43) 公開日 平成16年3月18日(2004.3.18)

(51) Int.Cl.⁷

G06F 13/00

F 1

G06F 13/00 550A

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 24 O L (全 29 頁)

(21) 出願番号 特願2002-245091 (P2002-245091)
(22) 出願日 平成14年8月26日(2002.8.26)

(71) 出願人 000004237
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
(74) 代理人 100079164
弁理士 高橋 勇
(72) 発明者 堀之内 寛
東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

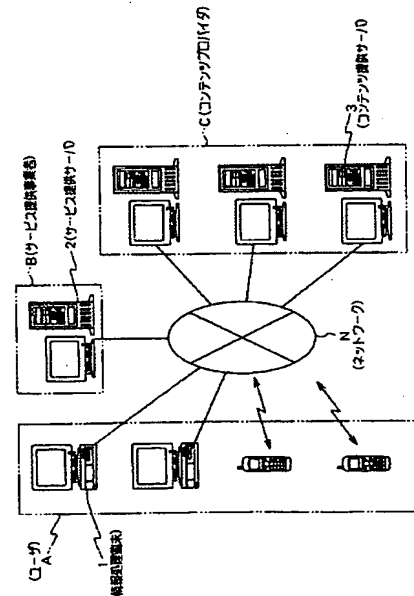
(54) 【発明の名称】 メーカーカスタマイズシステム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザの利便性の向上を図るメーカーカスタマイズシステムの提供。

【解決手段】 電子メール送受信手段を有する情報処理端末1と、この情報処理端末1にネットワークNを介して接続されたサービス提供サーバ2と、を備え、情報処理端末1が、サービス提供サーバ2にアクセスして電子メール送受信手段に所定の機能を付加することを要求するカスタマイズ要求機能と、この要求に応じてサービス提供サーバ2から提供されたカスタマイズ用データを受信して電子メール送受信手段に組み込むカスタマイズ機能とを備えると共に、サービス提供サーバ2が、情報処理端末1からのカスタマイズ要求に応じてカスタマイズ用データを当該情報処理端末1に提供するカスタマイズ用データ提供機能を備えた。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

電子メール送受信手段を有する情報処理端末を備え、
この情報処理端末が、前記電子メール送受信手段に付加する所定の機能を実現するための
カスタマイズ用データを他の記憶媒体から読み出して当該電子メール送受信手段に組み込
むカスタマイズ機能を備えたことを特徴とするメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 2】

電子メール送受信手段を有する情報処理端末と、この情報処理端末にネットワークを介し
て接続されたサービス提供サーバと、を備え、

前記情報処理端末が、前記サービス提供サーバにアクセスして前記電子メール送受信手段 10
に所定の機能を付加することを要求するカスタマイズ要求機能と、この要求に応じて前記
サービス提供サーバから提供されたカスタマイズ用データを受信して前記電子メール送受
信手段に組み込むカスタマイズ機能とを備え、
前記サービス提供サーバが、前記情報処理端末からのカスタマイズ要求に応じて前記カス
タマイズ用データを当該情報処理端末に提供するカスタマイズ用データ提供機能を備えた
ことを特徴とするメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 3】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段が作動
している際に前記情報処理端末の表示画面上に表示される画面を設定するメーラー画面設
定機能であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のメーラーカスタマイズシステム。 20

【請求項 4】

前記メーラー画面設定機能は、表示画面として用いる画面データをネットワーク上の他の
サーバに要求すると共に、この要求に応じて前記他のサーバから送信される画面データを
表示画面として設定する機能であることを特徴とする請求項 3 記載のメーラーカスタマイ
ズシステム。

【請求項 5】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段が作動
している際に前記情報処理端末の表示画面上に表示される画面を設定するメーラー画面設
定機能であり、

前記メーラー画面設定機能は、表示画面として用いる画面データを前記サービス提供サー 30
バに要求すると共に、この要求に応じて前記サービス提供サーバから送信される画面デー
タを表示画面として設定する機能であり、

前記サービス提供サーバが、前記情報処理端末からの要求に応じて当該情報処理端末に前
記画面データを送信する機能を有することを特徴とする請求項 2 記載のメーラーカスタマ
イズシステム。

【請求項 6】

前記情報処理端末及び前記サービス提供サーバに前記ネットワークを介して接続されたコ
ンテンツ提供サーバを備え、

このコンテンツ提供サーバが、前記サービス提供サーバに代わって前記画面データを前記 40
情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 5 記載のメーラーカスタマ
イズシステム。

【請求項 7】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、ネットワーク上の他のサーバにて
送信される所定の情報を受信することを前記他のサーバに承認して、当該他のサーバから
送信される情報を自己の端末にて受信して表示するダイレクトメッセージ受信表示機能で
あることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5 又は 6 記載のメーラーカスタマイズシス
テム。

【請求項 8】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、前記サービス提供サーバにて送信 50
される所定の情報を受信することを前記サービス提供サーバに承認して、当該サービス提

供サーバから送信される情報を自己の端末にて受信して表示するダイレクトメッセージ受信表示機能であり、

前記サービス提供サーバが、前記所定の情報を受信することを承認する前記情報処理端末に当該所定の情報を送信するダイレクトメッセージ送信機能を備えたことを特徴とする請求項 2, 5 又は 6 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 9】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段にて用いられる定型文データをネットワーク上の他のサーバに要求すると共に、この要求に応じて前記他のサーバから送信される定型文データを受信して利用可能とする定型文ダウンロード機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 又は 8 記載のメーラーカスタマイズシステム。 10

【請求項 10】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段にて用いられる定型文データを前記サービス提供サーバに要求すると共に、この要求に応じて前記サービス提供サーバから送信される定型文データを受信して利用可能とする定型文ダウンロード機能であり、

前記サービス提供サーバは、電子メールに適した複数の定型文データを記憶すると共に、前記情報処理端末から要求に応じた定型文データを当該情報処理端末に送信する定型文送信機能を有することを特徴とする請求項 2, 5, 6 又は 8 記載のメーラーカスタマイズシステム。 20

【請求項 11】

前記情報処理端末及び前記サービス提供サーバに前記ネットワークを介して接続されたコンテンツ提供サーバを備え、

このコンテンツ提供サーバが、前記サービス提供サーバに代わって電子メールに適した複数の定型文データを記憶すると共に、前記定型文データを前記情報処理端末に送信する定型文送信機能を有することを特徴とする請求項 10 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 12】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段におけるメール作成機能にて入力した文章を、前記カスタマイズ用データと共に前記情報処理端末に記憶した複数の文言がその意味に基づいて対応づけられている変換辞書データに基づいて、所定の文言に変換する文言変換機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 又は 11 記載のメーラーカスタマイズシステム。 30

【請求項 13】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段におけるメール作成機能にて入力した文章を、ネットワーク上の他のサーバに送信すると共に、当該文章を所定の文言に変換することを前記他のサーバに要求し、この要求に応じて前記他のサーバから送信される変換された文章を受信して使用する文言変換機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 又は 11 記載のメーラーカスタマイズシステム。 40

【請求項 14】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段におけるメール作成機能にて入力した文章を、前記サービス提供サーバに送信すると共に、当該文章を所定の文言に変換することを前記サービス提供サーバに要求し、この要求に応じて前記サービス提供サーバから送信される変換された文章を受信して使用する文言変換機能であり、

前記サービス提供サーバは、複数の文言がその意味に基づいて対応づけられているあらかじめ定められた変換辞書データを記憶すると共に、前記情報処理端末から送信された文章を前記変換辞書データに基づいて指定された文言に変換して前記情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 2, 5, 6, 8, 10 又は 11 記載のメーラーカス 50

タマイズシステム。

【請求項 15】

前記情報処理端末及び前記サービス提供サーバに前記ネットワークを介して接続されたコンテンツ提供サーバを備え、

このコンテンツ提供サーバが、複数の文言がその意味に基づいて対応づけられているあらかじめ定められた変換辞書データを記憶すると共に、前記サービス提供サーバに代わって前記文言変換を実行して前記情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 14 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 16】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段にて受信した所定の添付ファイルを、当該添付ファイルのファイル形式に応じて前記情報処理端末上に正常に表示するファイル表示機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14 又は 15 記載のメーラーカスタマイズシステム。 10

【請求項 17】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段にて受信した所定の添付ファイルをネットワーク上の他のサーバに送信すると共に当該添付ファイルを前記情報処理端末にて正常に表示できるよう展開することを要求し、この要求に応じて前記他のサーバから送信される展開されたファイルを受信して表示するファイル表示機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14 又は 15 記載のメーラーカスタマイズシステム。 20

【請求項 18】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、当該電子メール送受信手段にて受信した所定の添付ファイルを前記サービス提供サーバに送信すると共に当該添付ファイルを前記情報処理端末にて正常に表示できるよう展開することを要求し、この要求に応じて前記サービス提供サーバから送信される展開されたファイルを受信して表示するファイル表示機能であり、
前記サービス提供サーバは、前記情報処理端末から送信された所定のファイルを当該情報処理端末にて正常に表示できるよう展開して、当該展開したファイルを前記情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 2, 5, 6, 8, 10, 11, 14 又は 15 記載のメーラーカスタマイズシステム。 30

【請求項 19】

前記情報処理端末及び前記サービス提供サーバに前記ネットワークを介して接続されたコンテンツ提供サーバを備え、

このコンテンツ提供サーバが、所定のファイルを当該情報処理端末にて正常に表示できるよう展開する機能を有すると共に、前記サービス提供サーバに代わって前記情報処理端末から要求された前記添付ファイルを展開して、当該展開したファイルを前記情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 18 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 20】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、送信予定の電子メールに添付された所定のファイルへのリンクを当該電子メール上に形成すると共に、この電子メールを受信した前記情報処理端末において、前記電子メール上のリンクが選択されると当該リンクに関連づけられた前記所定のファイルを表示画面に表示するファイルリンク機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18 又は 19 記載のメーラーカスタマイズシステム。 40

【請求項 21】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、送信予定の電子メールに添付された所定のファイルへのリンクを当該電子メール上に形成すると共に、この電子メールを受信した前記情報処理端末において、前記電子メール上のリンクが選択されると当該リンク 50

に関連づけられた前記所定のファイルを表示画面に表示するために必要な機能をネットワーク上の他のサーバから取り込み、当該機能を用いて前記所定のファイルの内容を表示するファイルリンク機能であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18 又は 19 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 22】

前記電子メール送受信手段に付加される所定の機能は、送信予定の電子メールに添付された所定のファイルへのリンクを当該電子メール上に形成すると共に、この電子メールを受信した前記情報処理端末において、前記電子メール上のリンクが選択されると当該リンクに関連づけられた前記所定のファイルを表示画面に表示するために必要な機能を前記サービス提供サーバから取り込み、当該機能を用いて前記所定のファイルの内容を表示するファイルリンク機能であり、

前記サービス提供サーバが、前記情報処理端末から要求に応じて前記所定のファイルを表示するために必要な機能用データを当該情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 2, 5, 6, 8, 10, 11, 14, 15, 18 又は 19 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 23】

前記情報処理端末及び前記サービス提供サーバに前記ネットワークを介して接続されたコンテンツ提供サーバを備え、

このコンテンツ提供サーバが、前記サービス提供サーバに代わって前記所定のファイルを表示するために必要な機能用データを前記情報処理端末に送信する機能を有することを特徴とする請求項 22 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【請求項 24】

前記情報処理端末は、携帯電話端末であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22 又は 23 記載のメーラーカスタマイズシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、メーラーカスタマイズシステム、すなわち、情報処理端末に組み込まれた電子メール送受信手段が有する機能を拡張可能なメーラーカスタマイズシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

現在、パーソナルコンピュータ（以下、パソコン）や、携帯電話などの情報処理端末では、インターネットなどのネットワークを介して電子メールの送受信を行うことができる。特に、携帯電話による電子メールの送受信は、その利用が容易であることから、多くの利用が図られている。そして、電子メールの作成や送受信は、メーラーと呼ばれる専用のソフトウェア上にて行われるが、かかるメールソフトは、あらかじめパソコンや携帯電話などの端末に組み込まれていたり、パソコンにおいてはネットワークを介して他のサーバからダウンロードすることにより組み込むことができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ユーザは、あらかじめ情報処理端末に組み込まれているメーラーを利用することが前提とされ、そのメーラーの機能やデザインは、そのソフトウェアや端末を提供するメーカーにて設定されている。従って、ユーザは、自身が必要とする機能を追加あるいは選択したり、また、メーラーの表示画面などのデザインを任意に変更することができない、という不都合が生じていた。すなわち、メーラーは使用頻度の高いソフトウェアであるものの、その利便性や嗜好性の面から、ユーザの満足度を満たしていないという問題が生じていた。

【0004】

10

20

30

40

50

また、電子メールには種々のデータ形式のファイルを添付することができるが、これら添付ファイルは個々のデータ形式に対応した展開ソフトを有していないと、受信したユーザがその内容を確認することができないという不都合も生じていた。

【0005】

【発明の目的】

本発明は、上記従来例の有する不都合を改善し、特に、ユーザの利便性が向上するよう、ユーザ自身が自らメーラーをカスタマイズできるシステムを提供する、ことをその目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

そこで、本発明では、電子メール送受信手段を有する情報処理端末を備え、この情報処理端末が、電子メール送受信手段に付加する所定の機能を実現するためのカスタマイズ用データを他の記憶媒体から読み出して当該電子メール送受信手段に組み込むカスタマイズ機能を備えた、という構成を採っている。

また、電子メール送受信手段を有する情報処理端末と、この情報処理端末にネットワークを介して接続されたサービス提供サーバと、を備え、情報処理端末が、サービス提供サーバにアクセスして電子メール送受信手段に所定の機能を付加することを要求するカスタマイズ要求機能と、この要求に応じてサービス提供サーバから提供されたカスタマイズ用データを受信して電子メール送受信手段に組み込むカスタマイズ機能とを備えると共に、サービス提供サーバが、情報処理端末からのカスタマイズ要求に応じてカスタマイズ用データを当該情報処理端末に提供するカスタマイズ用データ提供機能を備えた、という構成をも採っている。

このような構成にすることにより、まず、ユーザがメーラーに他の機能を組み込むことを望む場合に、当該ユーザは他の記憶媒体からカスタマイズ用データを取り込んだり、あるいは、ネットワーク上の他のサーバやサービス提供サーバにカスタマイズ用データを要求して、これに応じてこれらのサーバから送信されたデータを取り込む。そして、情報処理端末は、取り込んだカスタマイズ用データを実行して組み込むことにより、当該ユーザが望む機能を当該端末上で実現することができる。従って、メーラーに後から諸機能を組み込むことができ、ユーザが利用しやすい環境設定を実現することができる。特に、上記情報処理端末が携帯電話である場合には、あらかじめ種々の機能を組み込んだメーラーを提供するよりも、ユーザが望む機能のみを後に組み込むことにより、端末内のメモリ使用量を最低限に抑制することができる。

【0007】

そして、カスタマイズできる機能、すなわち、メーラーに組み込むことができる機能は、例えば、メーラーが作動している際に情報処理端末の表示画面上に表示される画面を設定するメーラー画面設定機能である。これにより、ユーザは、メーラーのメニュー画面やメール作成画面などの種々の画面を任意の画面に設定することができ、ユーザの嗜好性の向上を図ることができる。

このとき、メーラーの画面上に表示する画面データは、ネットワーク上の他のサーバや、上記メーラー画面設定機能のデータを要求したサービス提供サーバ、さらには、当該サービス提供サーバを介して接続されたコンテンツ提供サーバ、にあらかじめ用意されていて、これらサーバにアクセスして画像データを受信してもよい。すなわち、これらのサーバには情報処理端末からの要求に応じて、メーラー画面をカスタマイズするための画面データを当該情報処理端末に送信する機能が備えられている。これにより、ユーザは、他のサーバから種々の画面を選択することでメーラー画面をカスタマイズできるため、容易にメーラー画面の変更をすることができる。

【0008】

また、メーラーに追加できる機能は、ネットワーク上の他のサーバあるいはサービス提供サーバにて送信される所定の情報（ダイレクトメッセージ）を受信することをこれらのサーバに承認して、これらサーバから送信される情報を自己の端末にて受信して表示するダ

10

20

30

40

50

イレクトメッセージ受信表示機能であると望ましい。そして、これに伴い、ネットワーク上の他のサーバや上記サービス提供サーバには、所定の情報を受信することを承認する情報処理端末に当該所定の情報を送信するダイレクトメッセージ送信機能が備えられている。

。これにより、ダイレクトメッセージ受信表示機能を組み込んだ情報処理端末からは、まず、サービス提供サーバなどに対して、ダイレクトメッセージを送信することを承認する旨のデータや送信先である情報処理端末のアドレスデータが送信される。そして、これらアドレスデータは、サービス提供サーバなどに記憶され、当該サービス提供サーバ等は、任意のタイミングにて広告情報などのダイレクトメッセージデータを上記アドレス先に送信する。すると、情報処理端末は、上記メッセージデータを受信して、自己の端末に表示する。従って、ユーザは種々の情報を得ることができると共に、広告を提供する企業などは広告宣伝効果の向上を図ることができる。

【0009】

また、メーラーに追加できる機能は、当該電子メール送受信手段にて用いられる定型文データをネットワーク上の他のサーバやサービス提供サーバ、さらには、当該サービス提供サーバを介してコンテンツ提供サーバに要求すると共に、この要求に応じてこれらのサーバから送信される定型文データを受信して利用可能とする定型文ダウンロード機能であることとすると望ましい。そして、これに伴い、サービス提供サーバ等には、電子メールに適した複数の定型文データが記憶されていると共に、情報処理端末から要求に応じた定型文データを当該情報処理端末に送信する定型文送信機能が備えられている。

これにより、メール作成時に使用する文章、例えば、ビジネス定型文などを、ユーザはサービス提供サーバなどに要求することで、容易かつ迅速に当該定型文を得ることができ、メール文章に取り込むことができる。特に、携帯電話にてメールを作成する際には、長い文章を入力する手間を省くことができる。従って、ユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0010】

また、メーラーに追加できる機能は、当該メーラーにて入力した文章を、カスタマイズ用データと共に情報処理端末に記憶した複数の文言がその意味に基づいて対応づけられている変換辞書データに基づいて、所定の文言に変換する文言変換機能であると望ましい。

これにより、まず、メーラーには、文言変換機能を組み込むためのデータと共に、変換辞書データが組み込まれる。そして、例えば、標準語にて入力した文章を大阪弁に変換したいと望む場合には、かかる処理をするよう入力指示することで、上記変換辞書データに基づいて文言変換が実行される。

そして、上記文言変換処理は、ネットワーク上の他のサーバあるいはサービス提供サーバ、当該サービス提供サーバを介してアクセス可能なコンテンツ提供サーバにて実行されてもよい。従って、文言変換機能とは、情報処理端末にて入力した文章を、ネットワーク上のサービス提供サーバなどに送信すると共に、当該文章を所定の文言に変換することを上記サーバ等に要求し、この要求に応じて上記サーバ等から送信される変換された文章を受信して使用する文言変換機能であってもよい。これに伴い、サービス提供サーバ等には、複数の文言がその意味に基づいて対応づけられているあらかじめ定められた変換辞書データが記憶されていると共に、情報処理端末から送信された文章を変換辞書データに基づいて指定された文言に変換して情報処理端末に送信する機能が備えられている。

このようにしても、上述と同様の効果を得ることができると共に、情報処理端末に変換辞書データを記憶することや、当該端末にて変換処理を実行する必要もないため、情報処理端末の負担を軽減することができ、特に、携帯電話である場合には、その処理能力やメモリ容量が限られているため、その効果は顕著である。

【0011】

また、メーラーに追加できる機能は、当該電子メール送受信手段にて受信した所定の添付ファイルを、当該添付ファイルのファイル形式に応じて正常に表示するファイル表示機能であると望ましい。これにより、メーラーにて受信された添付ファイルは、いかなるファ

イル形式であろうとも正常に展開されるため、ユーザはその内容を正確に把握することができる。

このとき、上記ファイルを展開して表示する機能は、添付ファイルをネットワーク上の他のサーバやサービス提供サーバ、さらには、当該サービス提供サーバを介して接続可能なコンテンツ提供サーバに送信すると共に当該添付ファイルを情報処理端末にて正常に表示できるよう展開することを要求し、この要求に応じてサービス提供サーバ等から送信される展開されたファイルを受信して表示するファイル表示機能であってもよい。そして、これに伴い、サービス提供サーバ等には、情報処理端末から送信された所定のファイルを当該情報処理端末にて正常に表示できるよう展開して、当該展開したファイルを情報処理端末に送信する機能が備えられている。

10

これにより、ユーザは、メーラーにて添付ファイルとして受信したファイル（例えば、PDFデータなど）をサービス提供サーバなどに送信し、これを当該サーバなどに正常に表示できるよう展開してもらう（例えば、TXTデータ）。そして、展開後のデータをサーバ等から受信して、情報処理端末上に表示することができ、ユーザはファイルの内容を確認することができる。すると、かかる構成では、種々のファイルを展開するための機能を情報処理端末に組み込むことなく、展開処理をサーバ等に負担させることができるため、情報処理端末、特に携帯電話でのメモリの節約、処理負担の軽減を図ることができる。

【0012】

さらに、メーラーに追加できる機能は、送信予定の電子メールに添付された所定のファイルへのリンクを当該電子メール上に形成すると共に、この電子メールを受信した情報処理

20

端末において、電子メール上のリンクが選択されると当該リンクに関連づけられた所定のファイルを表示画面に表示するファイルリンク機能であると望ましい。そして、このファイルリンク機能は、電子メール上に形成されたリンクがユーザにて選択されると、当該リンクに関連づけられた所定のファイルを表示画面に表示するために必要な機能をネットワーク上の他のサーバやサービス提供サーバ、コンテンツ提供サーバなどから取り込み、当該機能を用いて所定のファイルの内容を表示する機能であるとなお望ましい。

これにより、電子メールを送る側は、当該電子メールに添付するファイルへのリンクを直接メール本文中に形成することができると共に、これを受けた側は、メール本文中のリンクを選択することで、当該リンクに関連づけられているファイルが自動的に展開されて端末上に表示される。そして、当該ファイルを展開する機能が端末内に備えられていない場合には、自動的にかかる機能用プログラムがダウンロードされて組み込まれることとなる。従って、ユーザ間においては、ファイルのやりとりを容易に行うことができると共に、その表示も自動的に実行されるため、利便性及び嗜好性の向上を図ることができる。

30

【0013】

【発明の実施の形態】

〈第1の実施形態〉

以下、本発明の第1の実施形態を、図1乃至図6を参照して説明する。図1は、本発明の構成を示すブロック図である。図2は、第1の実施形態におけるシステムの動作を示すフローチャートである。図3乃至図6は、情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。

40

【0014】

（構成）

図1に示すように、本発明であるメーラーカスタマイズシステムは、電子メール送受信手段を有する情報処理端末1と、この情報処理端末1にネットワークNを介して接続されたサービス提供サーバ2と、情報処理端末1及びサービス提供サーバ2にネットワークNを介して接続されたコンテンツ提供サーバ3と、を備えている。そして、情報処理端末1に組み込まれている電子メール送受信手段としての電子メール送受信ソフトウェア（以下、メーラーとも言う）に、種々の機能を追加して組み込み、ユーザが独自にカスタマイズする、というものである。特に、本実施形態では、メーラーに追加する機能は、メーラーの表示画面をカスタマイズする機能である場合について説明する。以下、これを詳述する。

50

【0015】

(情報処理端末)

情報処理端末1は、一般的なユーザAが所有するパーソナルコンピュータ等の情報処理端末である。従って、情報処理端末1は、所定の演算処理能力を有する演算部(CPU)と、所定の記憶容量を有する記憶部(ハードディスクやメモリなど)といった一般的なコンピュータが有する構成となっている。但し、当該ユーザ端末1は、PDAといった情報携帯端末や携帯電話であってもよい。ここで、本実施形態では、以下、情報処理端末1は携帯電話であるとして説明する。

【0016】

そして、情報処理端末1には、上述したように電子メール送受信手段(図示せず)が備えられているが、これはネットワークNなどの電気通信回線を通じて、当該ネットワークN上の通信事業者(以下、キャリアとも言う)のサーバコンピュータにアクセスし、これを介して他のユーザの情報処理端末1と電子メールの送受信を行う手段である。従って、電子メール送受信手段は、携帯電話においては電話回線に接続する通信手段と、電子メールの作成や送受信を行う電子メール送受信ソフトウェア(メーラー)とにより構成される。ちなみに、情報処理端末1がパーソナルコンピュータ等である場合には、上記通信手段はモデムやターミナルアダプタ等が該当する。

【0017】

また、メーラーは、あらかじめ情報処理端末1のCPUに組み込まれ、あるいは、CD-ROMなどの他の記憶媒体から読み出されて当該端末のCPUに組み込まれることで、端末1上にて作動するソフトウェアである。ここで、メーラーの取込先である上記他の記憶媒体とは、ネットワーク上に存在するサーバコンピュータ内の記憶媒体(ハードディスクなど)であってもよい。すなわち、メーラーは、情報処理端末1がネットワークN上の他のサーバが開設しているメーラーを提供しているサイトにアクセスして、当該メーラーをインストールするためのプログラムをダウンロードすることにより取り込むことができる。そして、ダウンロードしたメーラーインストールプログラムを実行することで、情報処理端末1にメーラーを組み込むことができる。ちなみに、情報処理端末1にてネットワーク上の所定のサイトにアクセスするためには、携帯電話であってはNTTドコモ社のi-mode(登録商標)等にて用いられている技術にて、実現できる。そして、上記メーラーは、電子メールを作成、閲覧する機能や、電子メール送受信機能を備えた一般的なメーラーである。

【0018】

なお、携帯電話1にメーラーなどのソフトウェアを組み込むためには、当該携帯電話1に、クアルコム社の「brew(商標)」技術が組み込まれることで実現できる。brewとは、Binary Runtime Environment for Wirelessの略であり、携帯電話にC言語などでプログラミングされたバイナリレベルの実行環境を提供するものである。また、情報処理端末1がパソコンである場合には、周知技術であるため説明を省略する。

【0019】

ここで、本発明における情報処理端末1には、さらに、上述したサービス提供サーバ2にネットワークを介してアクセスして電子メール送受信手段(メーラー)に所定の機能を付加することを要求するカスタマイズ要求機能と、この要求に応じてサービス提供サーバ2から提供されたカスタマイズ用データを受信してメーラーに組み込むカスタマイズ機能とが備えられている。なお、これに対応して、サービス提供サーバ2には後述するように情報処理端末1からのカスタマイズ要求に応じてカスタマイズ用データを当該情報処理端末1に提供するカスタマイズ用データ提供機能が備えられている。

【0020】

上記情報処理端末1が備えるカスタマイズ要求機能は、ユーザにて入力されるメーラーに追加する機能の選択及び組み込み指示を受け付け、かかる情報をサービス提供サーバ2に送信するよう作動する。具体的には、まず、携帯電話の画面上に、メーラーに追加する機

能の選択画面が表示される。このとき、メーラーに追加可能な機能とは、本実施形態にて後述する「メーラー画面設定機能」や、他の実施形態にて説明する「ダイレクトメッセージ表示機能」、「定型文ダウンロード機能」、「文言変換機能」などである。これらの表示のうちから、ユーザが「メーラー画面設定機能」を選択した場合には、その旨が端末1にて認識され、ユーザが当該機能を組み込むことを要求している情報がサービス提供サーバ2にネットワークNを介して送信される。すると、後述するように、サービス提供サーバ2からユーザが指定した機能を追加するためのデータ、すなわち、カスタマイズ用データの一例であるメーラー画面設定機能組込用データが、情報処理端末1に送信される。

【0021】

そして、情報処理端末1では、サービス提供サーバ2などから上記カスタマイズ用データ10
が送信されると、カスタマイズ機能にて受信し、その後、カスタマイズ用データが自動的に展開されて、メーラーにメーラー画面設定機能が組み込まれる処理が実行される。これにより、ユーザはメーラー上にて、メーラー画面設定機能を実行することができる。このメーラー画面設定機能について、詳述する。

【0022】

メーラー画面設定機能とは、メーラーが作動中に、情報処理端末1の表示画面上に表示される画面を設定する機能である。具体的には、端末1上に表示されているメーラーの画面とは、メールメニュー画面、メール作成画面、メール確認画面、メール送受信画面などが考えられる。そして、ユーザが、いかなる画面にいかなる画面データを表示するかといった指示を入力することで、これら画面に、ユーザ希望の画面を背景に表示したり、キャラ30
クターを常駐表示させたりすることができる。そして、これら表示する画面データや、キャラクターのデータは、ユーザがサービス提供サーバ2などのネットワーク上の他のサーバから取得することで、容易かつ迅速に表示画面をカスタマイズすることができる。すなわち、メーラー画面設定機能は、表示画面として用いる画面データをネットワーク上の他のサーバに要求すると共に、この要求に応じて他のサーバから送信される画面データを表示画面として設定する機能を有している。この機能を用いてユーザがメーラー表示画面をカスタマイズする手順は後述する。

【0023】

ここで、メーラーの表示画面として用いる画面データやキャラクターデータは、例えば当該メーラー画面設定機能を取り込んだサービス提供サーバ2からもダウンロードできる。30
すなわち、メーラー画面設定機能により、サービス提供サーバ2に記憶された画面データをダウンロードできるサイトのリンクが携帯電話1に表示され、ユーザがかかるリンクを選択することで容易にアクセスできるようになっている。このように、メーラー画面設定機能を取り込んだサーバ2から、キャラクターデータなどを受信できるようにすると、当該データをダウンロードする手順が容易となり、ユーザが容易に利用できる。

【0024】

また、上述したサービス提供サーバ2の画面データのダウンロードサイトへのリンクは、後述する他の画面データを提供するコンテンツプロバイダCが開設するサイトすなわちコ40
ンテンツ提供サーバ3にもリンクしている。すなわち、メーラー画面設定機能には、コンテンツ提供サーバ3へのリンクも記憶されていて、これらのプロバイダからもメーラーの所定画面に表示する画面データ、キャラクターデータを容易にダウンロードすることができる。従って、種々のコンテンツプロバイダCから種々の画面データ等がユーザに提供されるため、ユーザの選択肢の増大を図ることができ、嗜好性、利便性の向上ひいては顧客満足度の向上を図ることができる。

【0025】

(サービス提供サーバ)

サービス提供サーバ2は、主に、本発明であるメーラーカスタマイズシステムを提供する業者Bが有するネットワークNに接続されたサーバコンピュータである。このサービス提供サーバ2は、所定の演算処理能力を有するCPUと、所定の記憶容量を有する記憶装置50
、さらには、通信機能を備えていて、ユーザAの情報処理端末1から常時アクセス可能な

ウェブサイトを開設している。このウェブサイトは、アクセスしてきた情報処理端末 1 に対して上述したメーラーに所定の機能を追加するためのカスタマイズ用データを提供するサイトであったり、メーラーの表示画面として設定する画面データ（キャラクターデータを含む）を提供するサイトである。

【0026】

そして、サービス提供サーバ 2 の記憶装置には、上述したカスタマイズ用データ、例えば、メーラー画面設定機能を情報処理端末 1 に組み込むためのインストールプログラムが記憶されている。但し、記憶されているものは、メーラー画面設定機能用のインストールプログラムに限定されず、他の実施形態にて後述する他の機能用のものも記憶されている。さらに、記憶装置には、メーラーの表示画面として設定される画面データやキャラクターデータも記憶されている。 10

【0027】

また、サービス提供サーバ 2 には、情報処理端末 1 からのカスタマイズ要求に応じて、カスタマイズ用データを当該情報処理端末 1 に提供するカスタマイズ用データ提供機能と、情報処理端末 1 のメーラー画面設定機能による要求に応じて当該情報処理端末 1 に画像データを送信する機能と、が備えられている。

【0028】

上記カスタマイズ用データ提供機能は、まず、情報処理端末 1 にてなされたメーラーに付加する機能を要求する旨の情報を受信する。そして、いかなる機能を要求しているかを認識し、かかる機能用のインストールプログラム（カスタマイズ用データ）を自己の記憶装置の中から読み出し、情報処理端末 1 に送信する。このとき、情報処理端末 1 からの要求時に当該端末 1 から送信されるデータから、要求している端末 1 がいかなる種類であるか、いかなる OS にて作動しているコンピュータであるか、といった動作環境をも認識し、これに応じたカスタマイズ用データを送信する。従って、サービス提供サーバ 2 には、同一の機能を実現するカスタマイズ用データであっても、その対応機種などに応じて複数の種類のものが記憶されている。 20

【0029】

また、上記画面データを送信する機能とは、サービス提供サーバ 2 自体の記憶装置に記憶されている情報処理端末 1 が選択した画面データやキャラクターデータを、当該情報処理端末 1 に送信する機能である。このとき、サービス提供サーバ 2 は、情報処理端末 1 からの画像データ要求に応じて、提供できる画像データ、キャラクターデータの一覧を提示してもよい。そして、提示データの中から選択された画面データ等を情報処理端末 1 に送信する。 30

【0030】

そして、サービス適用サーバ 2 を運営するサービス提供事業者 B は、ユーザに提供したカスタマイズ用データや画面データに対する対価を、当該ユーザから徴収し、これにより利益を得る。このとき、情報提供の対価の徴収方法は、事業者 B とユーザ A との間で、銀行口座を利用して決済を行ってもよく、ネットワークを通じてクレジットによる決済、あるいは、電子マネーを用いた電子決済にて行ってもよい。

【0031】

ここで、サービス提供サーバ 2 が有する上記各機能は、各機能用プログラムがサービス提供サーバ 2 の CPU に組み込まれることで実現できる。そして、そのプログラムは、CD-ROM などの可搬媒体から提供されたり、ネットワークを介して他のコンピュータから提供される。 40

【0032】

（コンテンツ提供サーバ）

コンテンツ提供サーバ 3 は、ユーザの情報処理端末 1 に所定のコンテンツを提供するコンテンツプロバイダ C が所有するサーバコンピュータである。このコンテンツ提供サーバ 3 は、上述したサービス提供サーバ 2 と同様に、CPU、記憶装置、通信機能を有していて、直接、あるいは、サービス提供サーバ 2 を介して、情報処理端末 1 にてアクセス可能と 50

なっている。

【0033】

コンテンツ提供サーバ3の記憶装置には、当該コンテンツプロバイダCが提供する上述したカスタマイズ用データや、メーカーの表示画面に設定される画像データ、キャラクターデータが記憶されていて、これらを情報処理端末1に対して、サービス提供サーバ2に代わって提供するように作動する。

【0034】

従って、情報処理端末1に組み込まれたメーカーや、メーカー画面設定機能には、これらコンテンツ提供サーバ3に通ずるリンクが設定されていたり、あるいは、上記データを求めてサービス提供サーバ2からコンテンツ提供サーバ3へのリンク先が表示されることにより、情報処理端末1は当該コンテンツ提供サーバ3にアクセスするようになる。このようにすることで、画像データ、キャラクターデータのみを提供するコンテンツプロバイダも本システムに加わることができ、画像データ等の種類の多様化を図ることができる。

【0035】

(ネットワーク)

また、ネットワークNは、専用線や電話回線あるいはCATVのケーブル等を用い、TCP/IPプロトコルといった通信プロトコルにて通信を行うインターネットである。但し、特定企業内のみで稼働するイントラネットや、TCP/IP以外のプロトコルで通信する特定のネットワークであってもよい。

【0036】

(動作)

以下、本発明の第1の実施形態における動作を、図2乃至図7を参照して説明する。図2は、上述したようにシステムの全体的な動作を示すフローチャートである。図3は、メーカー画面設定機能にて、メーカーの所定の画面をカスタマイズする際における情報処理端末1の表示画面の一例を示す図である。図4乃至図7は、メーカーの各画面をカスタマイズしたときの一例を示す図である。ちなみに、情報処理端末1は携帯電話であるとして、表示画面を図示する。

【0037】

まず、携帯電話1のユーザAは、自己の携帯電話1に所定のメーカーを組み込むべく、通信機能を用いてサービス提供サーバ2のメーカーを提供しているサイトに接続する(ステップS1)。そして、当該サイトにて、ユーザAが希望するメーカーを選択し、当該メーカーをインストールするためのプログラムをダウンロードする(ステップS2)。かかるプログラムをダウンロードしたユーザAは、携帯電話1上にて当該プログラムを実行し、メーカーを携帯電話1に組み込む処理を行う(ステップS3)。このとき、メーカーインストールプログラムは、ダウンロードされると自動的に実行されて携帯電話1に組み込まれるプログラムであってもよい。

【0038】

続いて、ユーザAが、組み込んだメーカーに他の機能を追加することを希望する場合には、携帯電話1のメーカーのメニューを表示し、かかるメニュー内にある「機能追加」を選択する。すると、追加できる機能の一覧が端末1上に表示されるので、ユーザAは、これらの内から追加する機能を選択する(ステップS4)。なお、ここでは、「メーカー画面設定機能」を選択したとする。

【0039】

すると、携帯電話1は、選択された機能用のプログラムをダウンロードすべく、サービス提供サーバ2のサイトに接続し、選択された機能用プログラム(カスタマイズ用データ)を要求するデータを送信する。すると、サービス提供サーバ2から、要求されたプログラムが携帯電話1に送信されて、ダウンロードが実行される(ステップS5)。その後、携帯電話1にて、ダウンロードされたプログラムが自動的に、あるいは、ユーザAの操作のもとに実行されて、メーカー画面設定機能がメーカーに組み込まれることとなる(ステップS6)。

【0040】

ここで、ステップS5におけるダウンロードは、必ずしもサービス提供サーバ2から実行されることに限定されない。サービス提供サーバ2に要求したものの、当該サーバ2にその機能用プログラムが記憶されていない場合には、当該サーバ2が他のコンテンツ提供サーバ3に要求し、かかるコンテンツ提供サーバ3からダウンロードが実行されてもよい。また、上記ステップS4の携帯電話1にて追加する機能が選択されたときに、カスタマイズ用データの要求はサービス提供サーバ2に必ずされるわけではなく、選択された機能に応じて、その要求先があらかじめ設定されており、他のサーバ（コンテンツ提供サーバ3）に接続して要求してもよい。そして、当該他のサーバからダウンロード（ステップS5）が実行されてもよい。このようにすると、サービス提供サーバ2が全ての機能を提供する
10
の必要がなくなり、機能用のプログラムの開発を他の業者に委託することで、負担を軽減することができる。また、他の業者であるコンテンツプロバイダCも自社のプログラムをユーザに提供でき、利益の向上を図ることができる。そして、ユーザAにとっても追加できる機能が多様化するため、利便性の向上を図ることができる。

【0041】

続いて、上記のように携帯電話1に組み込んだメーラー画面設定機能にて、メーラーの種々の表示画面をカスタマイズする手順の一例を、図3のユーザインタフェースを参照して説明する。

【0042】

まず、メーラーを起動することで「Eメールメニュー」画面が表示される（図3（a）参照）。そして、この画面にて、「▲6▼Eメール設定」を選択すると、「Eメール設定」画面が表示される（図3（b）参照）。かかる画面上の「▲5▼画面カスタマイズ」を選択することで、「画面カスタマイズ」画面が表示される（図3（c）参照）。この画面にて、ユーザAは、表示画面のカスタマイズを希望するメーラー上の画面を選択する。ここでは、メーラーのメニュー画面のカスタマイズを希望するとする。

【0043】

続いて、「メニュー画面カスタマイズ」画面が表示され、メニュー画面の背景に所定の画面データを設定するか、あるいは、メニュー画面にキャラクターを挿入するか、が問われる。同時に、かかる画面データ、キャラクターデータを、サンプルから選択するか、あるいは、提供事業者から選択するかも問われる（図3（d）参照）。仮に、背景を差し替える場合であって、サンプルから選択する場合には、「メニュー画面カスタマイズ」画面にて、「▲1▼画像一覧から選択」を選択する。すると、携帯電話1は、サービス提供サーバ2にアクセスして、当該サーバ2のサイトに記憶されている画像データのサンプル一覧（サムネール）を受信し、「画面選択」画面として携帯電話1上に表示する（図3（e））。このとき、「画面選択」画面にて表示されるサンプルデータは、サービス提供サーバ2に記憶されている画面データであってもよく、他のコンテンツ提供サーバ3に記憶されていて、そのサンプル（サムネール）のみがサービス提供サーバ2に記憶されているものであってもよい。また、必要に応じて、画面右下の「次ページ」ボタンを選択すると、他のサムネールが表示される。そして、このうち、一つの画面データを選択すると、その画面データが、サービス提供サーバ2やコンテンツ提供サーバ3から、携帯電話1にダウンロードされる。
30
40

【0044】

一方、「メニュー画面カスタマイズ」画面（図3（d）参照）にて、「▲2▼提供事業者から選択」を選択すると、「提供事業者選択」画面が表示され、接続可能であって画面データを提供しているコンテンツプロバイダCの一覧が表示される（図3（f）参照）。このうちから、ユーザAが所定のコンテンツプロバイダCを選択することで、携帯電話1はそのコンテンツ提供サーバ3が画像データを提供しているサイトにアクセスする。その後は、コンテンツ提供サーバ3によってこととなるが、図3（e）に示す「画像選択」のようにサムネールにて公開している場合には、かかる表示から希望の画像を選択することで、携帯電話1にダウンロードすることができる。
50

【0045】

上述のようにして、サービス提供サーバ2などから画像をダウンロードし、当該画像を「Eメールメニュー」画面の背景に設定したときの一例を、図4(a)に示す。また、図4(b)は、キャラクターを挿入したときの一例である。このように、図3(d)に示す「メニュー画面カスタマイズ」画面にて、キャラクター挿入を選択することで、好みのキャラクターをメーラーの画面上に常駐表示させることができる。このとき、キャラクターデータは動画データであって、メーラーの画面上にて動いていてもよい。

【0046】

また、図5(a)は、「送信メール作成」画面の背景画像を、図5(b)は、キャラクター表示をカスタマイズしたときの例を示す図である。そして、図6(a)、(b)、(c)は、それぞれ、「メール問い合わせ中」画面、「メール送信中」画面、「メール受信中」画面の背景画像をカスタマイズしたときの例を示す図である。

【0047】

さらに、上述したメーラー画面設定機能にて設定する画面データなどを、所定の企業の広告として利用してもよい。その一例を図7に示す。例えば、ある会社は、無料にてメーラー表示画面データを提供し、これをユーザが利用する。具体的に、図7(a)~(c)を参照して説明する。まず、ユーザは、携帯電話1のインターネット接続画面にて、「お得情報」のメニューを選択する(図7(a)参照)。このとき、ある企業から無料のメーラー画面が提供されている場合には、かかる企業が選択肢として表示される(図7(b)参照)。そして、所定の企業のメーラー画面を選択することで(例えば、「aaaaa社」)、サービス提供サーバ2に接続されて、当該サーバからメーラー画面データを取得することができ、その画面データをメーラー表示画面として携帯電話に表示することができる(図7(c)参照)。これにより、ユーザはメーラーの画面を、ある企業の商品画像などに無料でカスタマイズすることができるため、これを楽しむことができ、企業はかかるメーラー画面への表示により、当該ユーザに対して広告宣伝を行うことができる。

【0048】

このようにすることで、ユーザは自己の希望する機能(例えば、上述したメーラー画面設定機能)をメーラーに組み込むことができるため、メーラー自体を任意にカスタマイズすることができ、利便性の向上を図ることができる。このとき、ネットワークNに接続されているサービス提供サーバ2などにアクセスして組み込む機能用のプログラムを要求することにより、当該プログラムを取得することができ、組込作業を容易に行うことができる。従って、ユーザが必要に応じて所定の機能をメーラーに組み込むため、メーラーにあらかじめ種々の機能を組み込んでおく必要がなくなり、メーラー自体のプログラム容量の削減、及び、動作時に必要とされるメモリの容量の抑制を図ることができる。特に、情報処理端末1が携帯電話である場合には、端末自体のメモリが制限されているため、その効果は顕著である。

【0049】

また、上述したように、メーラーにメーラー画面設定機能を組み込んだ場合には、当該機能用プログラムと同様に、メーラーの所定の画面に設定する画像データ、キャラクターデータをネットワークN上の他のサーバから取得することができ、容易にメーラー画面をユーザ自体が好む画面にカスタマイズすることができる。従って、あらかじめ情報処理端末1すなわちメーラーにカスタマイズ用の画像データ等を記憶させておく必要がなくなり、記憶容量の節約を図ることができると共に、ユーザの利便性、及び、嗜好性の向上を図ることができる。

【0050】

ここで、上述した情報処理端末1は、メーラーに付加する所定の機能用のデータ(カスタマイズ用データ)をネットワークN上のサービス提供サーバ2やコンテンツ提供サーバ3から取り込むことを例示したが、必ずしもこれに限定されない。情報処理端末1が備えるカスタマイズ機能は、上記カスタマイズ用データを他の記憶媒体から読み出してメーラーに組み込むよう作動する機能であってもよい。すなわち、情報処理端末1がパーソナルコ

ンピュータである場合には、CD-ROMなどの可搬媒体に記憶されたカスタマイズ用データを所定のドライブを介して読み出して当該コンピュータに組み込む。また、情報処理端末1が携帯電話やPDAなどである場合には、所定のケーブルにて接続されたコンピュータを介して、当該コンピュータのハードディスクやCD-ROMなどから読み出して組み込んでよい。このようにしても、メーカーに後から種々の機能を追加することができ、上記同様の効果を有することができる。

【0051】

〈第2の実施形態〉

以下、本発明の第2の実施形態を、図8乃至図9を参照して説明する。図8は、第2の実施形態における動作を示すフローチャートである。図9は、第2の実施形態において情報処理端末1に表示される画面の一例を示す図である。

【0052】

(構成)

本実施形態におけるメーカーカスタマイズシステムでは、メーカーに付加される所定の機能が、ネットワークN上の所定のサーバから送信される情報を受信して自己の端末1に表示するダイレクトメッセージ受信表示機能である。すなわち、ユーザが情報処理端末1である携帯電話に他の記憶媒体やネットワーク上のサーバから取り込む上記カスタマイズ用データは、ダイレクトメッセージ表示機能用のプログラムである。

【0053】

上記ダイレクトメッセージ表示機能は、まず、ネットワークN上のサービス提供サーバ2などの他のサーバに対して、これらサーバが送信する所定の情報（ダイレクトメッセージ）を受信することを承認する情報を送信する。具体的には、上記機能を組み込んだ携帯電話などの情報処理端末1は、自己の端末の電話番号や電子メールアドレスなど、ダイレクトメッセージ送信先である情報処理端末1を識別するための情報と共に、ダイレクトメッセージの受信を希望する旨の情報をサービス提供サーバ2などのダイレクトメッセージを配信するサーバに送信する。すなわち、自己の端末1の固有データを、ダイレクトメッセージを配信するサーバに登録する。そして、所定のサーバからダイレクトメッセージがネットワークNを介して送信されると、登録した携帯電話1はこれを受信し、自己の端末1に表示する。このとき、ダイレクトメッセージは所定のサーバから電子メールとして送信されるものではないため、かかるダイレクトメッセージデータはメーカーの受信ボックスに格納されずに、ダイレクトメッセージ表示機能にて、直ちに携帯電話1のトップメニューに表示されたり、メーカーのいずれかの画面などに表示される。

【0054】

ここで、所定のサーバがダイレクトメッセージを携帯電話に送信するタイミングは、例えば、当該所定のサーバがメールサーバである場合には、情報処理端末1である携帯電話がメールを取得すべくメールサーバにアクセスした時である。すなわち、メールサーバが携帯電話1からメール取得のためのアクセスを受けたときに作動して、当該携帯電話1にネットワークNを介してダイレクトメッセージを送信する。但し、所定のサーバがダイレクトメッセージを配信するタイミングは、上記のものに限定されない。例えば、情報処理端末1に対して任意の時間にダイレクトメッセージを送信するよう作動してもよい。

【0055】

また、ダイレクトメッセージを配信するサーバは、メールサーバとして作動するサーバに限定されない。そして、例えば、ダイレクトメッセージを配信するサーバが、ダイレクトメッセージに関するカスタマイズ用データを提供したサービス提供サーバ2である場合には、当該サービス提供サーバ2には、所定の情報（ダイレクトメッセージ）を受信することを承認する情報処理端末1に当該ダイレクトメッセージを送信するダイレクトメッセージ送信機能が備えられている。この送信機能は、上述したように、登録された情報処理端末1（携帯電話）に対して、当該携帯電話からアクセスがあったときや、任意の時間に、ネットワークNを介してダイレクトメッセージを送信するよう作動する。ここで、ダイレクトメッセージは、例えば、サービス提供サーバ2にあらかじめ配信を依頼した会社など

の広告情報であって、「バーゲン実施中」なる文字情報や、当該会社のロゴからなる画像情報などである。

【0056】

なお、本実施形態におけるメーカーカスタマイズシステムは、上述した第1の実施形態にて説明した機能をも同時に備えている。

【0057】

(動作)

次に、本実施形態における動作を、図8のフローチャートを参照して説明する。まず、ユーザがダイレクトメッセージに関する機能の追加を希望すると、メーカーを組み込んだ携帯電話1にてサービス提供サーバ2にアクセスして、当該機能用のプログラム（カスタマイズ用データ）を要求する（ステップS11）。そして、プログラムをダウンロードし、当該プログラムを実行することで、携帯電話1にダイレクトメッセージ受信表示機能が組み込まれる（ステップS12）。 10

【0058】

このとき、上記機能用プログラムをダウンロードしたサービス提供サーバ2がダイレクトメッセージを配信するサーバである場合には、ダイレクトメッセージ受信表示機能が組み込まれると同時に、当該機能が作動することにより、自動的に携帯電話1の電話番号やメールアドレスなど当該携帯電話1を識別する情報が、携帯電話1からサービス提供サーバ2に送信される（ステップS13）。これを受けたサービス提供サーバ2では、当該電話番号やアドレスに対応する携帯電話1にダイレクトメッセージを送信する、との登録が行われる。但し、かかる登録処理は、後にユーザの意思に基づいて当該ユーザ自身の操作により、アドレスデータなどが携帯電話1からサービス提供サーバ2に送信されて、行われてもよい。 20

【0059】

そして、サービス提供サーバ2は、ダイレクトメッセージの配信を依頼している会社などの要求に応じた時間帯に、登録された携帯電話1にダイレクトメッセージを配信する。例えば、ある時間限定の割引サービスに関する広告情報をダイレクトメッセージとして送信する場合には、その時間の前には配信することとなる。この配信されたダイレクトメッセージは登録された携帯電話1にて受信され（ステップS14）、当該携帯電話1の表示画面に表示される（ステップS15）。その表示画面の一例を図9に示す。この図に示す例では、メーカーのメニュー画面にダイレクトメッセージが表示される。具体的には、メニュー画面の上部に「〇〇〇〇バーゲン実施中」という文字情報が表示され、その分、Eメールメニューの内容は下方に下げられて表示される。また、その背景には、当該ダイレクトメッセージを提供する会社のキャラクター画像が表示される。ここで、上記ダイレクトメッセージは、携帯電話1の全ての表示画面に表示されてもよい。このとき、当該メッセージデータは、表示画面の一部、あるいは、背景に表示されることで、ユーザが携帯電話1を操作することの妨げとなることが抑制される。 30

【0060】

このようにすることにより、ダイレクトメッセージ表示機能を組み込んだ情報処理端末は、ダイレクトメッセージデータを受信して、自己の端末に表示するため、ユーザは種々の情報を得ることができると共に、広告を提供する企業などは広告宣伝効果による売り上げの向上を図ることができる。特に、携帯電話に対してダイレクトメッセージの内容に適合した時間帯に送信するようにすると、これを提供する企業は、よりリアルタイムな広告効果を得ることができる。 40

【0061】

〈第3の実施形態〉

次に、本発明の第3の実施形態について、図10を参照して説明する。図10は、本実施形態における情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。

【0062】

(構成)

本実施形態におけるメーラーカスタマイズシステムでは、メーラーに付加される所定の機能が、メーラーにて用いられる定型文データをネットワークN上の所定のサーバから取得する定型文ダウンロード機能である。すなわち、ユーザが情報処理端末1である携帯電話に他の記憶媒体やネットワーク上のサーバから取り込む上記カスタマイズ用データは、定型文ダウンロード機能用のプログラムである。そして、当該機能用プログラムのダウンロード及び組込方法は、上述したメーラー画面設定機能やダイレクトメッセージ表示機能の場合と同様である。

【0063】

上記定型文ダウンロード機能は、具体的には、メーラーのメール作成時に用いられる定型文データを、ネットワークN上のサービス提供サーバ2に要求すると共に、この要求に応じてサービス提供サーバ2から送信される定型文データを受信して、メール本文に取り込んで利用可能とする。このとき、ユーザが携帯電話にて定型文データを要求するサーバは、サービス提供サーバ2でない他のサーバであってもよい。そして、当該サービス提供サーバ2に接続されているコンテンツ提供サーバ3であってもよい。これにより、あらゆる事業者が提供している種々の定型文を利用することができ、ユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0064】

また、これに伴い、定型文データを提供するサービス提供サーバ2やコンテンツ提供サーバ3などの他のサーバは、電子メールに適した複数の定型文データを記憶すると共に、携帯電話1（情報処理端末）から要求に応じた定型文データを当該携帯電話1に送信する定型文送信機能を有している。さらに、記憶している複数の定型文データは、絵文字、挨拶文などのジャンルに分類されており、ユーザは容易に目的の定型文を取得することができる。

【0065】

（動作）

次に、本実施形態における動作を、図10のユーザインタフェースを参照して説明する。まず、ユーザはメーラーにてメール本文を作成する（図10（a）、（b）参照）。このとき、メール作成の際に用いる機能呼び出すべく、画面右下にある「メニュー」ボタンを選択すると（図10（b）参照）、種々のメニューが表示される。そして、「定型文呼出」を選択することで（図10（c）参照）、定型文を利用することができる。このとき、携帯電話1にあらかじめ記憶されている定型文を利用してもよいが、「ダウンロード」を選択することで（図10（d）参照）、ダウンロードできる定型文のジャンル一覧が表示される（図10（e）参照）。例えば、「▲1▼絵文字」を選択すると、携帯電話1はサービス提供サーバ2内の定型文が記憶されているサイトにアクセスし、そのジャンルに分類されている定型文の一覧を受信して表示する（図10（f）参照）。そして、一覧からユーザが使用する絵文字を選択することで、かかるデータがメール本文に取り込まれ、当該ユーザが使用できるようになる。

【0066】

このようにすることで、入力が困難であるが娯楽性の高い絵文字をユーザが容易に使用することができ、メール作成時のユーザの満足度を向上を図ることができる。また、あらかじめこれらの絵文字を端末1に記憶させておく必要がないため、メモリの節約をも図ることができる。さらに、作成が困難である挨拶文やおもしろコメントなど、種々の定型文が種々のサーバから提供されることで、よりユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0067】

〈第4の実施形態〉

次に、本発明の第4の実施形態について、図11を参照して説明する。図11は、本実施形態における情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。

【0068】

（構成）

本実施形態におけるメーラーカスタマイズシステムでは、メーラーに付加される所定の機

10

20

30

40

50

能が、メーラーのメール作成機能にて入力した文章を、英語や関西弁など、文章の意味を変えずに文言を変換する文言変換機能である。具体的には、文言変換機能は、ユーザがメーラーにて入力した文章を、情報処理端末1である携帯電話にてネットワーク上のサービス提供サーバ2に送信すると共に、当該文章を指定した文言に変換することを当該サービス提供サーバ2に要求し、この要求に応じてサービス提供サーバ2から送信される変換された文章を受信して、メールに使用する機能である。なお、上記機能用のプログラム（カスタマイズ用データ）は、上述と同様に、他の記憶媒体やネットワーク上のサービス提供サーバ2やコンテンツ提供サーバ3から、携帯電話1に取り込まれて組み込まれる。

【0069】

また、これに伴い、サービス提供サーバ2には、複数の文言がその意味に基づいて対応づけられているあらかじめ定められた変換辞書データを記憶している。例えば、単語毎に標準語、英語、関西弁、赤ちゃん言葉、絵文字などが記憶されている。また、サーバ2のCPUには、携帯電話1から送信された文章を変換辞書データに基づいて指定された文言に変換して、当該携帯電話1に返送する機能が組み込まれている。すなわち、この変換機能は、まず、ユーザから指示されている変換すべき文言（例えば、英語）を認識し、その文言に応じた変換辞書データ（例えば、和英辞書データ）を利用可能とする。そして、ユーザから送信された文章を、単語毎に区切る処理を行い、これら単語に対応してもとの文章（標準語）を指定された文言（英語）に変換する。このときの処理は、一般的な翻訳ソフトなどにおいて用いられている周知技術を使用するため、その説明は省略する。その後、変換した文章を携帯電話1に返送する。

【0070】

（動作）

次に、本実施形態における動作を、図11に示すユーザインタフェースを参照して説明する。まず、ユーザはメーラーにてメール本文を作成する（図11（a）、（b）参照）。このとき、メール作成の際に用いる機能呼び出すべく、画面右下にある「メニュー」ボタンを選択すると（図11（b）参照）、種々のメニューが表示される。そして、入力した文章全ての文言を変換する場合には、「文言変換」を選択する（図11（c）参照）。すると、変換可能な文言一覧が表示され、このうちユーザは「英語変換」を選択することで（図11（d）参照）、変換すべき文言の指定情報と共に、変換対象の文章データがサービス提供サーバ2に送信される。

【0071】

これを受信したサービス提供サーバ2は、記憶している辞書データを参照して、要求のあった文章を英文に変換し、これを携帯電話1に返送する。携帯電話1のメール作成画面には、変換された英文が表示され（図11（e）参照）、ユーザはこれをメール送信先である他のユーザに送信することができる。

【0072】

このようにすることにより、ユーザ自身が作成できない英語や関西弁、あるいは、作成が困難である絵文字などの文言に、当該ユーザが作成した標準語の文章を容易に変換して使用することができ、ユーザの利便性の向上を図ることができる。また、実際の変換処理を、ネットワーク上のサービス提供サーバ2に依頼することで、変換に必要な変換辞書データや変換処理機能を、携帯電話などのユーザの端末1が有している必要がないため、処理負担や記憶容量の削減を図ることができる。

【0073】

ここで、上述したサービス提供サーバ2の役割を、ネットワーク上の他のサーバ、例えば、コンテンツ提供サーバ3が果たしてもよい。すなわち、コンテンツ提供サーバ3などが、変換辞書データを記憶して変換処理を行い、変換した文章を携帯電話1に返送する機能を備えていてもよい。これにより、種々のサーバから様々な文言変換サービスが提供されるため、よりユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0074】

また、上述した文言変換処理は、メールを作成している携帯電話1上にて実行されてもよ

い。すなわち、携帯電話 1 には、上述した変換辞書データ（辞書データ）が記憶されると共に、このデータに基づいて作成した文章を所定の文言に変換する文言変換機能が組み込まれてもよい。そして、上記変換辞書データは、例えば、メーカーに文言変換機能を組み込むべくダウンロードした当該機能用プログラム（カスタマイズ用データ）と共に、サービス提供サーバ 2 などからダウンロードして、携帯電話 1 内に組み込まれる。このようにすることで、他のサーバに接続することなく、自己の端末にて文言変換処理を実行するため、迅速に変換を行うことができる。

【0075】

〈第 5 の実施形態〉

次に、本発明の第 5 の実施形態について、図 12 を参照して説明する。図 12 は、本実施形態における情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。 10

【0076】

（構成）

本実施形態におけるメーカーカスタマイズシステムでは、メーカーに付加される所定の機能が、電子メールにて受信した所定の添付ファイルを、当該添付ファイルのファイル形式に応じて携帯電話 1 の表示画面に正常に表示する機能である。具体的には、この機能は、上記添付ファイルをネットワーク N 上のサービス提供サーバ 2 に送信すると共に当該添付ファイルを携帯電話 1 にて正常に表示できるよう展開することを要求し、この要求に応じてサービス提供サーバ 2 から送信される展開されたファイルを受信して表示する機能である。なお、上記機能用のプログラム（カスタマイズ用データ）は、上述と同様に、他の記憶媒体やネットワーク上のサービス提供サーバ 2 やコンテンツ提供サーバ 3 から、携帯電話 1 に取り込まれて組み込まれる。 20

【0077】

さらに、上記機能を詳述すると、添付ファイルを表示できるよう展開することを要求する機能とは、携帯電話 1 にてユーザが添付ファイルを選択することで自動的にサービス提供サーバ 2 に当該添付ファイル自体及び展開要求信号が送信される。すなわち、添付ファイルを選択すると、まず、携帯電話 1 自体がそのファイルを正常に開くことが可能であるかが当該携帯電話 1 にて判断される。このとき、開くことが可能である、すなわち、そのファイルを開くためのソフトウェアが携帯電話 1 に組み込まれている場合には、そのまま展開されて携帯電話 1 に表示される。一方で、携帯電話 1 にて開けないと判断されると、上述したように、ファイルがサーバ 2 に送信される。そして、展開処理されたファイルがサーバ 2 から返送されると、携帯電話 1 はこれを受信して表示する。このとき、ファイルは一般的な携帯電話 1 にて表示可能なファイル形式に変換されて送信される。例えば、文書データなどは、メーカーにて表示できるデータに展開され、画像データは、ビットマップ形式のデータに展開される。 30

【0078】

また、携帯電話 1 に組み込まれる展開要求機能は、添付ファイルをサービス提供サーバ 2 に展開要求する際に、添付ファイル自体と共に、表示可能なファイル形式に関する情報を送信してもよい。

【0079】

そして、上記構成に伴い、サービス提供サーバ 2 には、携帯電話 1 から受信したファイルを、当該携帯電話 1 にて正常に表示できるよう展開して、当該展開したファイルを返送する機能が備えられている。このとき、いかなるファイル形式に展開するかは、一般的な携帯電話 1 が表示できる形式としてあらかじめ設定されている形式であってもよく、携帯電話 1 から送信された表示可能なファイル形式に関する情報に基づいて設定されてもよい。 40

【0080】

（動作）

次に、本実施形態における動作を、図 12 のユーザインタフェースを参照して説明する。まず、ユーザは電子メールを受信すると、当該メールが携帯電話 1 上に表示される。このとき、受信したメールに所定のファイルが添付されていると、その添付ファイルの表示が 50

なされる（図12（a）参照）。そして、ユーザが添付ファイルの内容を確認すべく当該添付ファイルを選択すると、まず、メーラーはこの添付ファイルを正常に開くことの処理を試みる。このとき、この携帯電話1が「***.txt」形式のファイルを開くことができる場合には、図12（b）のようにファイル内容を表示する。一方、開くことができない場合には、携帯電話1はサービス提供サーバ2にアクセスして、その添付ファイルを送信し、当該携帯電話1にて表示できるよう展開することを要求する。すると、サーバ2は、受信したファイルを通常の文字データとして開き、そのまま携帯電話1にメーラーにて表示できるよう送信する。従って、これを受けた携帯電話1は、自己の端末上に、ファイルの内容を表示することができる。

【0081】

このようにすることにより、携帯電話1にて開くことができず、内容を確認することのできない添付ファイルをメールと共に受信した場合であっても、他のサーバ2にファイル展開処理を代行してもらうことができ、開かれた状態のファイルを受け取ることで、携帯電話1にてあらゆるファイルの内容を確認することができる。従って、ユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0082】

なお、展開可能なファイル形式は、所定のワープロソフト用のファイル形式や、所定の圧縮画像形式など種々のものに対応でき、ある特定のものに限定されるわけではない。

【0083】

また、代行してファイルの展開処理を行うサーバは、サービス提供サーバ2に限定されず、当該サーバ2に接続されているコンテンツ提供サーバ3や、その他のサーバであってもよい。

【0084】

さらに、上述したファイルを表示する処理は、他のサーバに展開代行してもらうばかりでなく、携帯電話1自体にて自己の端末に正常に表示できるようファイルを開く処理を行ってもよい。すなわち、メーラーに付加される機能であるファイル表示機能は、あらゆるファイルを展開できる機能そのものを含んでいてもよい。

【0085】

＜第6の実施形態＞

次に、本発明の第6の実施形態について、図13を参照して説明する。図13は、本実施形態における情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。

【0086】

（構成）

本実施形態におけるメーラーカスタマイズシステムでは、メーラーに付加される所定の機能が、送信予定の電子メールに添付された所定のファイルへのリンクを当該電子メール上に形成すると共に、この電子メールを受信した携帯電話1において、電子メール上のリンクが選択されると当該リンクに関連づけられた所定のファイルを表示画面に表示するファイルリンク機能である。具体的には、この機能は、まず、メールを作成するユーザが当該メールに動画ファイルを添付する場合に、当該ファイルを添付する指示をすると、メール本文中に当該ファイルへのリンクを形成する。そして、メーラーにてこのメールを送信すると、リンクが形成されたメール本文はもちろんのこと、当該リンクに関連づけられた添付ファイルも送信される。また、これを受信したファイルリンク機能を備えた携帯電話1では、図13（a）に示すように、メール本文と共に添付ファイルへのリンク（「アクション起動」）が表示される。この携帯電話1にてリンクが選択されると、自動的にファイルを開くよう展開処理が実行され、添付ファイルである動画ファイルが携帯電話1上にて再生される。

【0087】

このとき、ファイルリンク機能は、動画ファイルを再生する機能を有するが、再生すべき添付されたファイルが携帯電話1にて開くことのできないファイル形式である場合には、当該ファイルを開くためのソフトウェアを取得すべく、自動的にサービス提供サーバ2

や他のサーバにアクセスし、当該ソフトウェアを要求する。そして、サービス提供サーバ2などから必要とするソフトウェアが提供されると、このソフトをダウンロードして携帯電話1に組み込み、添付ファイルを再生する。

【0088】

これに伴い、サービス提供サーバ2には、携帯電話1からの要求に応じて添付ファイルのファイル形式を認識して、これを表示するために必要な機能用データ、すなわち、ソフトウェアを当該携帯電話1に送信する機能が備えられている。

【0089】

(動作)

まず、メールを作成するユーザは、再生するのに特定のソフトウェアが必要な動画ファイル10
をメールに添付する。すると、メール本文には、当該動画ファイルへのリンク(図13
(a)の「アクション起動」参照)が形成される。そして、このメールを送信すると、形成されたリンクと添付した動画ファイルが関連づけられた状態で、送信先のユーザの携帯電話1に受信される。

【0090】

そして、これを受けたユーザは、メール本文中の「アクション起動」の文字を選択することで、ファイルリンク機能は、自己の端末に動画ファイル再生ソフトがあるか否かを確認する。あればそのまま再生ソフトを起動してファイルを再生するが、ない場合には、ネットワーク上のサービス提供サーバ2にアクセスして、添付ファイルである動画ファイルを再生できるソフトを要求する。例えば、動画ファイルの形式に関する情報を送信する。20

【0091】

すると、サービス提供サーバ2では、要求を受けた再生ソフトを検索し、自己のサーバに記憶されていれば、当該ソフトウェアデータを携帯電話1に送信し、なければ他のコンテンツ提供サーバ3に要求し、携帯電話1に提供させる。そして、携帯電話1は再生ソフトを受信し、自己に組み込み、当該ソフトウェア上にて動画ファイルを再生する。当該動画ファイルを再生している例を図13(b)に示す。この図では静止が表示されているように見えるが、実際には動画が再生される。ちなみに、本実施形態において電子メールに添付されるファイルは、動画ファイルに限定されず、表示するのに特定のソフトウェアを必要とする静止画像ファイルであってもよい。

【0092】

このようにすることで、電子メールを送る側は、当該電子メールに添付するファイルへのリンクを直接メール本文中に形成することができると共に、これを受けた側は、メール本文中のリンクを選択することで、当該リンクに関連づけられているファイルが自動的に展開されて端末上に表示され、さらに、当該ファイルを展開する機能が端末内に備えられていない場合には、自動的にかかる機能用プログラムがダウンロードされて組み込まれ、ファイルが再生されるため、ユーザ間においては、ファイルのやりとりを容易に行うことができる。30

【0093】

〈第7の実施形態〉

次に、本発明の第7の実施形態について、図14乃至図15を参照して説明する。図14乃至図15は、本実施形態における情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。40

【0094】

本実施形態では、カスタマイズ機能にてメーカーに付加される所定の機能が、上記実施形態にて説明した機能以外のものである場合を例示する。具体的には、フォルダ振り分け機能、検索機能、である場合を説明する。ちなみに、これらの機能も、カスタマイズ用データとして他の記憶媒体やサービス提供サーバ2、コンテンツ提供サーバ3から取得して、メーカーに組み込んだ機能である。

【0095】

まず、図14のユーザインタフェースを参照して、メーカーにフォルダ振り分け機能を付50

加した場合を説明する。フォルダ振り分け機能とは、メーラーにて受信したメールや、送信したメールを、その宛先などに応じて作成したフォルダに自動的に振り分けて整理する機能である。具体的に、受信メールを例に挙げて、その振り分け手順と共に説明する。

【0096】

はじめに、メールを振り分けるためのフォルダを生成する手順を説明する。Eメールメニューにて「▲2▼受信ボックス」を選択すると（図14（a）参照）、現在受信ボックスに生成されているフォルダが表示される（図14（b）参照）。このとき、「受信BOX」にカーソルを合わせた状態で、「メニュー」ボタンを選択すると、「受信BOX」内にフォルダを作成するか、メールを全部削除するか、などのメニューが表示される（図14（c）参照）。ここで、フォルダ作成を選択すると、新たなフォルダを生成することができ10
る。ちなみに、図14（b）において、「▲1▼受信BOX」を選択すると、受信BOX内にある受信メールの一覧が表示される。

【0097】

また、受信ボックスを表示しているときに、生成されているフォルダ（「彼氏用」）にカーソルを合わせて「メニュー」ボタンを選択すると（図14（d）参照）、図14（e）に示すような、画面が表示される。ここで、フォルダ作成を選択すると、「彼氏用」フォルダの中にさらにフォルダを生成することができる。また、「振り分けルール変更」を選択すると、受信メールの振り分けルールを設定することができる。例えば、送信元アドレスが「××××@〇〇. ne. jp」であるメールを「彼氏用」フォルダに振り分けるよう設定すると、当該メーラーにてメールを受信したときに、上記アドレスからのものは、20
自動的に「彼氏用」フォルダに振り分けられる。このメールは、図14（d）にて、「彼氏用」にカーソルを合わせた状態で選択することで、当該フォルダ内のメールを全て見ることができる。

【0098】

このようにすることで、ユーザは受信したメールを任意のフォルダに自動的に振り分けることができ、ユーザはメールを整理することができ、メールの管理が容易となり、メーラーの利便性の向上を図ることができる。

【0099】

次に、図15に示すユーザインタフェースを参照して、メーラーにメール検索機能を付加した場合を説明する。メール検索機能とは、メーラーにて受信したメールを、その宛先や本文内容から検索する機能である。具体的に、受信メールを例に挙げて、その検索手順と共に説明する。30

【0100】

まず、Eメールメニューにて「▲2▼受信ボックス」を選択すると（図15（a）参照）、現在受信ボックスに生成されているフォルダが表示される（図15（b）参照）。このとき、「▲1▼受信BOX」にカーソルを合わせた状態で、「メニュー」ボタンを選択すると、受信BOX内にフォルダを作成するか、メールを全部削除するか、さらには、検索、などのメニューが表示される（図15（c）参照）。ここで、検索を選択すると、検索対象の一覧が表示される（図15（d）参照）。このとき、検索対象は、「宛先」、「タイトル」、40
「本文」などである。

【0101】

ここで、検索対象として「宛先」を選択すると、アドレス帳を参照して検索するか、あるいは、宛先となるメールアドレスを直接入力して検索するか、を選択する表示がなされる（図15（e）参照）。また、検索対象として「タイトル」を選択すると、検索キーワードを入力する画面が表示される（図15（f））。これらの表示（図15（e）、（f））に応じて、アドレスやキーワードを入力すると、これらのアドレスやキーワードを含むメールの検索が実行され、検索されたメールの一覧が表示される。なお、検索処理は、既に周知技術となっているため、その詳細は省略する。

【0102】

このようにすることで、ユーザは受信したメールを、宛先やタイトル、さらには、本文中 50

の用語に基づいて検索することができ、必要としているメールを迅速かつ容易に探し出すことができる。

【0103】

そして、上記フォルダ振り分け機能、検索機能を、これら機能用プログラム（カスタマイズ用データ）をサービス提供サーバ2などからダウンロードすることにより、既に携帯電話1などに組み込まれているメーラーに後から追加することができるため、ユーザにおけるメーラーの利便性の向上を図ることができる。

【0104】

【発明の効果】

本発明は、以上のように構成され機能するので、これによると、ユーザは自己の希望する機能を必要に応じて既存のメーラーに組み込むことができるため、メーラー自体を任意にカスタマイズすることができ、利便性の向上を図ることができると共に、メーラーにあらかじめ種々の機能を組み込んでおく必要がなくなり、メーラー自体のプログラム容量の削減、及び、動作時に必要とされるメモリの容量の抑制を図ることができ、さらに、ネットワークに接続されているサービス提供サーバなどにアクセスして組み込む機能用のプログラムを要求することにより、当該プログラムを取得することができるため、組込作業を容易に行うことができる、という従来にない優れた効果を有する。特に、情報処理端末が携帯電話である場合には、端末自体のメモリが制限されているため、その効果は顕著である。

【0105】

また、メーラーに追加する機能をメーラー画面設定機能とした場合には、メーラーの所定の画面に設定する画像データ、キャラクターデータをネットワーク上の他のサーバから取得するようにすることで、容易にメーラー画面をユーザ自体が好む画面にカスタマイズすることができ、あらかじめ情報処理端末にカスタマイズ用の画像データ等を記憶させておく必要がなくなり、記憶容量の節約を図ることができると共に、ユーザの利便性、及び、嗜好性の向上を図ることができる。

【0106】

また、メーラーに追加する機能をダイレクトメッセージ受信表示機能とした場合には、ダイレクトメッセージデータを受信して自己の端末に表示することで、ユーザは種々の情報を得ることができると共に、広告を提供する企業などは広告宣伝効果による売り上げの向上を図ることができ、特に、携帯電話に対してダイレクトメッセージの内容に適合した時間帯に送信するようにすると、より広告効果の向上を図ることができる。

【0107】

また、メーラーに追加する機能を定型文ダウンロード機能とした場合には、入力が困難である娯楽性の高い絵文字や、作成が困難である挨拶文やおもしろコメントなど、種々の定型文をユーザが容易に使用することができ、メール作成時のユーザの満足度を向上を図ることができ、特に、あらかじめこれらの絵文字を端末に記憶させておく必要がないため、メモリの節約をも図ることができる。

【0108】

また、メーラーに追加する機能を文言変換機能とした場合には、ユーザ自身が作成できない英語や関西弁、あるいは、作成が困難である絵文字などの文言に、当該ユーザが作成した標準語の文章を容易に変換して使用することができ、ユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0109】

また、メーラーに追加する機能をファイル表示機能とした場合には、携帯電話にて開くことができず、内容を確認することのできない添付ファイルをメールと共に受信した場合であっても、他のサーバにファイル展開処理を代行してもらい開かれた状態のファイルを受け取ったり、当該機能にてファイルを表示することで、携帯電話にてあらゆるファイルの内容を確認することができ、ユーザの利便性の向上を図ることができる。

【0110】

さらに、メーラーに追加する機能をファイルリンク機能とした場合には、電子メールを送る側は、当該電子メールに添付するファイルへのリンクを直接メール本文中に形成することができると共に、これを受けた側は、メール本文中のリンクを選択することで、当該リンクに関連づけられているファイルが自動的に展開されて端末上に表示され、さらに、当該ファイルを展開する機能が端末内に備えられていない場合には、自動的にかかる機能用プログラムがダウンロードされて組み込まれ、ファイルが再生されるため、ユーザ間においては、ファイルのやりとりを容易に行うことができると共に、その表示も自動的に実行されるため、利便性及び嗜好性の向上を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1の実施形態における構成を示すブロック図である。

10

【図2】 本発明の第1の実施形態における動作を示すフローチャートである。

【図3】 図3(a)～(f)は、メーラー画面をカスタマイズする際の手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

【図4】 図4は、メーラー画面をカスタマイズした場合における携帯電話の表示画面を示す図である。図4(a)は、メーラー画面の背景に所定の画像データを表示した場合の一例を示す図であり、図4(b)は、メーラー画面の一部に所定のキャラクターデータを挿入した場合の一例を示す図である。

【図5】 図5は、メーラー画面をカスタマイズした場合における携帯電話の表示画面を示す図である。図5(a)は、メーラー画面の背景に所定の画像データを表示した場合の一例を示す図であり、図5(b)は、メーラー画面の一部に所定のキャラクターデータを挿入した場合の一例を示す図である。

20

【図6】 図6は、メーラー画面をカスタマイズした場合における携帯電話の表示画面を示す図であり、図6(a)～(c)は、それぞれメーラー画面の背景に所定の画像データを表示した場合の一例を示す図である。

【図7】 図7は、第1の実施形態における情報処理端末の表示画面の一例を示す図である。図7(a)～(c)は、メーラー画面をカスタマイズする際の手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

【図8】 本発明の第2の実施形態における動作を示すフローチャートである。

【図9】 第2の実施形態において携帯電話の表示画面に表示される画面の一例を示す図である。

30

【図10】 図10は、第3の実施形態における情報処理端末の表示画面を示す図である。図10(a)～(f)は、定型文をダウンロードする際の手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

【図11】 図11は、第4の実施形態における情報処理端末の表示画面を示す図である。図11(a)～(e)は、文言変換を実行する際の手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

【図12】 図12は、第5の実施形態における情報処理端末の表示画面を示す図である。図12(a)、(b)は、添付ファイルの表示を実行する際の手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

【図13】 図13は、第6の実施形態における情報処理端末の表示画面を示す図である。図13(a)、(b)は、添付ファイルの再生を実行する際の手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

40

【図14】 図14は、第7の実施形態における情報処理端末の表示画面を示す図である。図14(a)、(b)は、メールをフォルダに振り分けるよう設定する手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

【図15】 図15は、第7の実施形態における情報処理端末の表示画面を示す図である。図15(a)、(b)は、メールを検索する手順を説明すると共に、携帯電話に表示される画面の一例を示す説明図である。

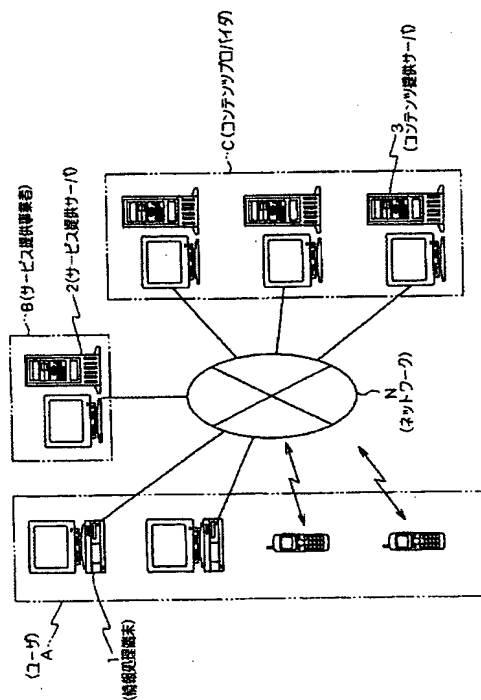
【符号の説明】

1 情報処理端末

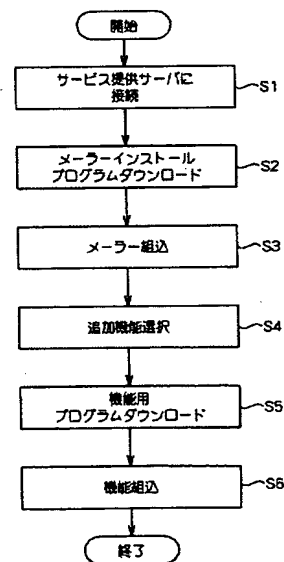
50

- 2 サービス提供サーバ
- 3 コンテンツ提供サーバ
- A ユーザ
- B サービス提供事業者
- C コンテンツプロバイダ
- N ネットワーク (インターネット)

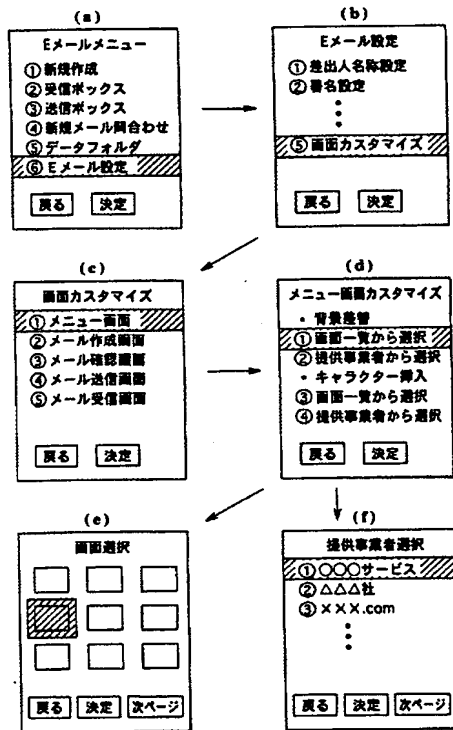
【図 1】



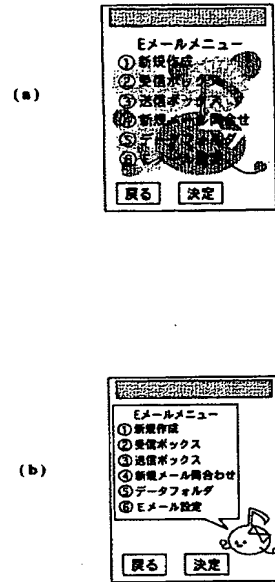
【図 2】



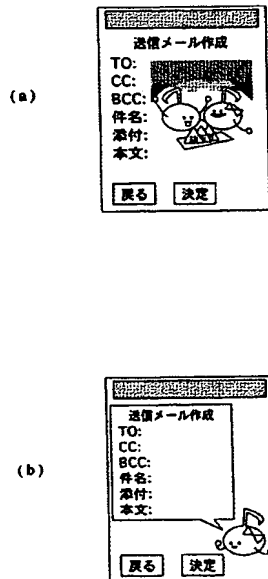
【図 3】



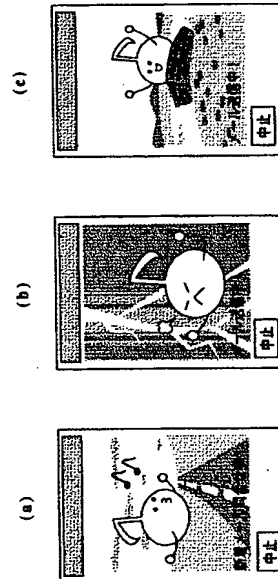
【図 4】



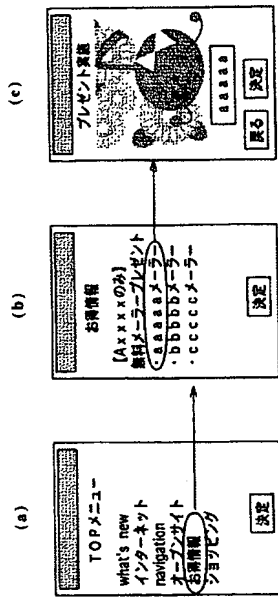
【図 5】



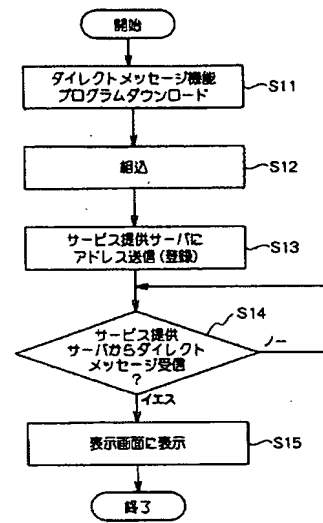
【図 6】



【図 7】



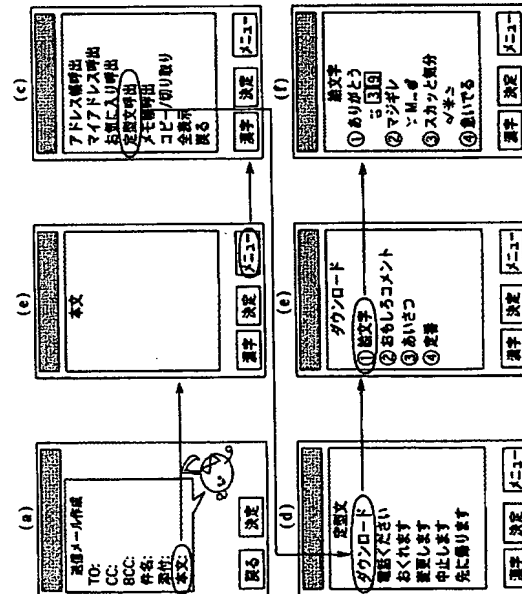
【図 8】



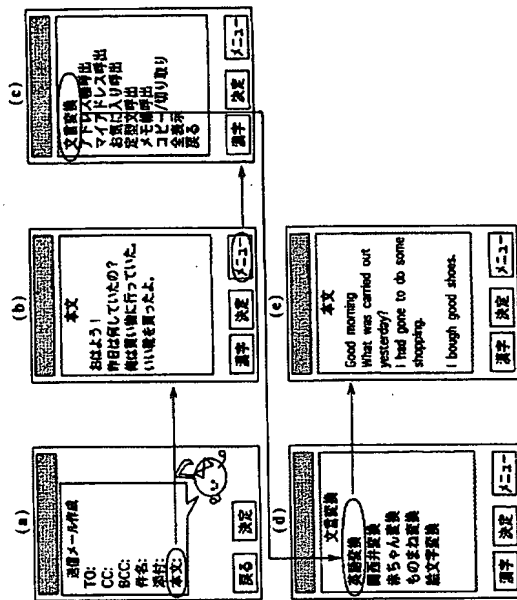
【図 9】



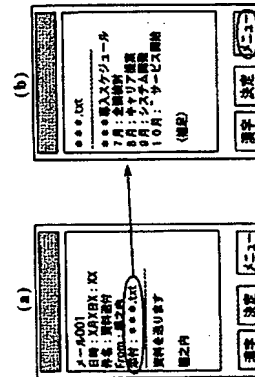
【図 10】



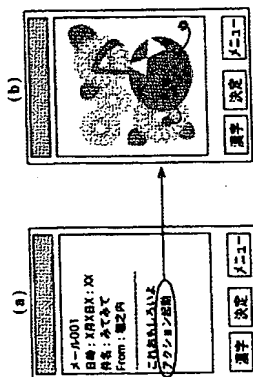
【図 1 1】



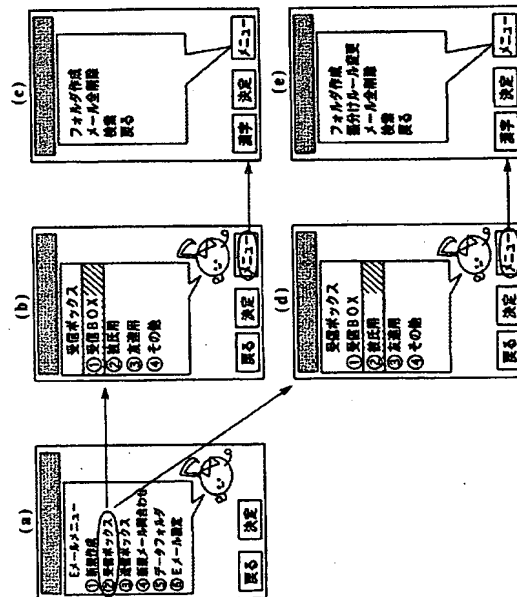
【图 1 2】



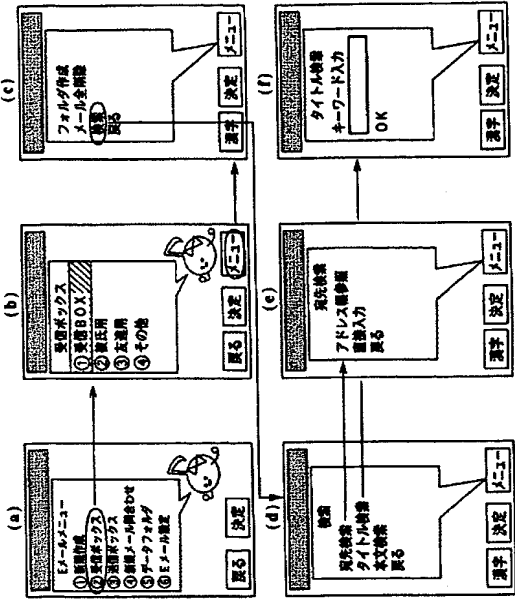
【図 13】



【図 14】



【図 15】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.